



ひので映画大使最新版

第55回映画大使「フューリー」

期 日 平成26年11月28日(金) ※公開初日！

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

プロデューサーとしても映画界のトップに立つブラッド・ピットが、「サボタージュ」などで知られるデビッド・エア監督とタッグを組み放つ、戦争アクションドラマ。圧倒的な臨場感で迫ります。

第2次世界大戦末期、ウォーダディー(ブラッド・ピット)は自ら「フューリー(激しい怒り)」と名づけたシャーマンM4中戦車に仲間と乗り込み闘っていた。新兵も加わり絆を深めていくが、彼らに過酷なミッションが下される・・・



(C) Norman Licensing, LLC 2014

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

☆ 戦争の悲惨さ、恐怖が伝わりました。

☆ ブラッド・ピットが逞しかった！

☆ 圧倒的な臨場感でした。



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

内容的に圧倒されました。戦闘のシーンが前面に出ていましたが、その中に人間性を出していて、それぞれの個性が際立っていましたね。戦争の残酷さ、残忍さは戦争に勝とうが、負けようが同じなんですよね。

■Bさん

戦争映画はあまり観ないのですが、激しいシーンの中にも、ヒューマン的要素があって、新兵のノーマンが成長していく姿が印象的でした。

■Cさん

史実でも、いくら敵兵と鉢合わせても、迷わず撃つ事は出来なかったそうです。訓練によって人を撃てるようになって、この映画にも描かれていたように、撃つ恐怖、撃たれる恐怖というのは常にあったのでしょうか。人間は恐怖に駆り立てられて引き金を引くのでしょうね・・・

■Dさん

登場人物が皆、人間味に溢れており、戦争という過酷な状況でもその暖かさが出ていて、心打たれました。仕方なく人を殺さざるを得ない状況でも、根底での思いやりの心というものを凄く感じました。ラストは少し意外でしたね・・・(内容は伏せ

ます)。

■Eさん

戦争を題材とした作品では、人が殺されるシーンが描かれますが、時には目を背けずに、戦争について考えるのも大事だと思います。戦争があったというのは、後世に伝えていかねばならないですね。
主演のブラッド・ピットの役作りも凄かったですね。戦闘のシーンは音など、凄く臨場感がありました。

■Fさん

平和な日本だからこそ、戦争をテーマにした作品というのは観ておかななくてはならないと思いますし、私も観てきました。大義名分で戦争を始めても、戦場で戦っている人達からすれば、生きるために人を殺さねばならない極限の状況では正義もなにもない筈です。感情すら無駄になってしまうのが戦争だと思います。

■Gさん

壊れない心は、心が強くないと持てないと思います。1人の戦士になっていく新兵のノーマンの姿や、ブラッド・ピットの「理想は平和、歴史は残虐」というセリフが印象的でした。

■Hさん

テーマは重かったですが、とても誠実に作られた映画だったという気がしました。「たった5人で300人の敵に挑んだ男たち」というコピーだけ見るとアクションっぽいですが、(内容は伏せます)現実にはちゃんと作られていると思いました。

戦争は本当に悲惨ですが、目を背けてはいけないと思います。こういうジャンルの作品を観て語り合うも「映画大使」の良い所だと思います。

■Iさん

単なるアクションものとは違って、戦争のリアルさが伝わってきて、胸が痛くなるシーンも多かったです。戦車の操縦席などもリアルすぎて、その場にいるような錯覚を起こしました。

冷たく見える戦車も彼らにとっては「家」だったし、5人のやりとりや、チームワークを見ている内にその冷たさが薄らいできました。

未来を感じるラストでした。

📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・どんな状況でも仲間の「絆」というのは大切ですね。
- ・戦車の戦闘シーンの迫力が凄まじかったです。
- ・物語的にはシンプルにも見えますが、テーマはやはり凄いですね。
- ・「命の重さ」がひしひしと伝わりました。
- ・観た世代によって感じ方も違うと思います。
- ・ブラッド・ピットの演技が良かったですね。心の深みを感じました。

📌 まとめ

今も各地で内戦や紛争は絶えませんが、この作品の舞台でもある世界大戦などは、遠い昔の出来事とならぬよう、大使の皆さんも言っていましたが、後世に伝える事の大切さ、犠牲になった人達の想いは決して忘れてはいけません。

戦車もある意味「主人公」だったこの作品。激しい戦闘シーンからは戦争に対するテーマが重く伝わってきました。

劇場の大スクリーンでは是非ご覧ください！

👉 [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

👉 [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)